

令和元年度

萩市消費生活モニター通信①



©萩市消費生活センター

萩市 消費生活センター

萩市消費生活モニター通信① 目次

通話録音装置の貸出しについて	1
通話録音装置について.....	1～2
訪問買取について.....	3
金額の表示	4
汚れたプラスチックごみ	5
環境講演会に参加して	6
エコプラザ・夏まつりの資源ごみ分別体験に参加 して.....	6～7
研修会に参加して	8
防災訓練	8
育児休暇中の保育園入所について	9
移動販売	10
萩市のグルメについて	11

通話録音装置の貸出しについて

「法と福祉のセミナー」に参加して、萩消費生活研究会の「母さん、助けて詐欺！」を拝見しました。そして改めて思ったのが、「オレオレ詐欺」は未だに衰えるどころか、手を変え品を変え横行しているということです。

最近では、家族を装ったりするだけでなく、警察官を装ったりして騙すというような手口など、家族を心配する気持ちに付け込んだ悪質な詐欺事件はなくなりそうな気配がありません。

高齢者は、頼れる知り合いが少なく判断能力が弱っているため、狙われやすいと言われています。萩市では、対策として通話録音装置の貸出しをしているとのことですが、周知徹底を図るための対策をどのようにされているのでしょうか？

（消費生活センター）

オレオレ詐欺の被害は、「私は騙されない」と思っている、むしろしっかりした人が被害に遭われています。萩市内でも5～6月にかけて、県庁の職員を騙った男性から「あなたの個人情報が出ていますので削除してあげる」という内容の「ウソ電話」がかかったと数人から相談されました。2～3年前に電話を受けた人に、再度電話がかかることもあります。

萩市では、通話録音装置の周知の方法としては、出前講座（随時要望のあった町内会やサロンや学校等）や、今年5～6月に開催した民生委員・児童委員協議会等で参加者全員にチラシの配布をしたり、FM萩での告知や萩市のホームページを更新するなどしてご案内しています。

現在、独居の高齢者や高齢者夫婦のみの世帯に関わられることの多い、町内会や民生委員さんをはじめ、在宅介護支援センターや包括支援センター等からの問い合わせが多く見受けられます。皆さんもお近くの人やご親戚に気になる人がおられたら、遠慮なく消費生活センターへご相談ください。



通話録音装置について

日中、自宅にいる日があると、少なくとも1回は“0120-〇〇”や“080-〇〇”から迷惑電話がかかります。毎日、家におられる方はうんざりされるのではないかと思います。

私の家は、ナンバーディスプレイなので、かかった電話番号でおおよその迷惑電話を推測できるので良いのですが、ナンバーディスプレイでない機種の手話だと出ざるを得ないでしょう。

そんなことを思っていた時、萩市消費生活センターから電話勧誘や電話詐欺の被害防止対策として通話録音装置の1年無料貸し出しサービスの話いただきました。

さっそく、地区の集合型サロンに参加される参加者30数名に紹介したところ、2

名の高齢者が使いたいと手を挙げられました。すぐに、消費生活センターにつなぎ、短い期間でスムーズにその装置を設置していただきました。

その後、設置したお二人に様子を伺うと、迷惑電話がかからなくなったと喜んでおられました。その反面、知人や親戚が電話をかけてくると、電話がつながったと思うと何か言うから（つながるとすぐに、「この電話は被害防止のため、会話内容を録音します」と流れるから）すぐ切ったと、親しい方には不評も聞かれるようです。

最近の新しい電話機には、はじめからこの装置がついているので、買い替えることもいいと思います。

また、録音装置は、電気屋で販売しており、購入して設置することも出来るそうです。その際は、設置費込みで2万円位かかるそうです。

悪質な勧誘や詐欺が多発する中の防止対策のひとつです。一人でも多くの高齢者や日中在宅者に知っていただきたいサービスだと思います。

悪質な電話勧誘・電話詐欺
被害防止対策

萩市では通話録音装置の貸出しをしています

対象者 ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯等
貸出期間 1年間

警告メッセージ付き通話録音装置とは・・・

呼び出し音が鳴る前に、



この電話は被害防止のため、
会話内容を録音します。

というメッセージが、電話をかけた側に流れます。

会話を録音されると困るような業者は、通常、このメッセージ中に電話を切ってしまいます。その場合、呼び出し音はなりませんので、電話をとることがなく安心です。

既にご家庭にある電話機に装置を取り付けることができます。

※装置が搭載された一体型の電話機も電器店等で販売されています。



訪問買取について

先日、久しぶりの友人（終活をそろそろ考えはじめるお年頃？）との会食で、不用の服や貴金属の訪問買取の話がでました。

一度目は外出前で断ったけれど、もう一度電話がかかるまでに服を用意しようとしている友人（傍で貴金属の話が出るよと言われ、少し不安な表情になっていました）。また、不用な指輪やネックレス（友人の目の前で計量）で、お金を手にしてラッキーと感じている友人。

トラブルは起こっていない様子で何よりですが、身近でいろいろなことがあるんだなと思いました。

（消費生活センター）

「不用品を買い取る」「いない服や靴はないか？」などと電話（女性の声）で勧誘し、男性担当者が消費者宅を訪問し、実際には消費者が売ろうとしていたものではなく、宝石や貴金属を強引に買い取っていく手口が今でも数多く見られます。高齢者のみの家では、強引に貴金属類を出すように言われ、しかも出すまで相手が帰らないと、恐くなり早く帰ってほしいあまり、「貴金属類を手渡した」という相談を受けることがあります。また業者が家を訪ねて来る前に断りたいが、相手の連絡先を聞いていない場合は、誰か知り合いの人や近所の人でもいいので、同席してもらいはっきり断るよう情報提供しています。

もし、相手業者に貴金属類を売ってしまった場合でも、必ず相手業者から契約書してもらわなくてはなりません。契約書を受領して、8日間以内ならばクーリングオフ（解約）ができます。不安な時や疑問を感じられる時は、いつでも消費生活センターへご相談ください。



金額の表示

買物をする時、いつも思うことです。数字のマジックか198円（税込214円）298円（参考税込322円）……の表示。目に入るのは、198円や298円の大きい文字の方です。当たり前のことですが、実際の支払いは税込の金額なので、いつも損した気分になります。

周りの人も「すべて税込金額だけ表示してもらえんかね。」と言います。

また、今とは逆で、214円（本体価格198円）とは、表示できないものではないでしょうか？

それと、（税込0円）（参考税込0円）とは、どう違うのでしょうか？

（消費生活センター）

「消費税転嫁対策特別措置法」で、二度にわたる消費税率の引き上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転化の確保及び事業者による値札の貼替え等の事務負担に配慮する観点から、「総額表示義務の特例」として、平成25年10月1日から令和3年3月31日までの間、現に表示する価格が税込価格であると誤認されないための措置を講じていれば税込価格を表示しなくてもよいこととされています。（消費者の利便性に配慮する観点から、令和3年3月31日までの間でも、本特例により税込価格を表示しない事業者は、できるだけ速やかに、税込価格を表示するよう努めなければならないと規定されている）

従って、原則は総額表示(税込価格)ですが、令和3年3月31日までは例外的に税抜表示が認められ、誤認防止策の徹底も図られている状況です。

また、「参考税込」とは税抜価格に税額を加算した場合の税込価格で、税額の小数点以下を「切り捨てる」か、「切り上げる」かは各事業者によって判断が異なります。1点のみの利用の場合は「参考税込」価格になりますが、利用点数が複数の場合、単純に合計した金額が合計金額とはならないため、「参考税込」と書いているところもあります。



汚れたプラスチックごみ

汚れたプラスチックごみを洗剤で洗いきれいにして出すことは、水を多く使うことと、洗剤での汚染を考えると、リサイクルか燃やせるごみかどちらが良いのか迷ってしまいます。

(環境衛生課)

そもそも、リサイクルをすれば環境負荷がなくなるということではありません。ご指摘のとおり、リサイクルをすることで、環境への負荷が小さくなる反面、洗うことで水に対する環境負荷が生じる面もあります。

ただ、エネルギーだけを考えると、一般的には、洗ってリサイクル等に出したほうが環境負荷が少ないといわれています。

しかしながら、非常に手間のかかりそうな、例えば、麻婆豆腐の液体や、ラー油などの汚れのとれにくい『液体調味料やラップ類』は、そのまま燃やせるごみとして出されてもかまいません。これは、「萩市ごみ収集早見表」の「燃やせるごみ」のコーナーにも掲載しています。

できる範囲でのリサイクルについて、ご協力をお願いします。

萩市ごみ収集早見表

ごみは収集日の**8時30分**までに決めら

燃やせるごみ	プラスチック
<p>毎週 ・ 曜日</p> <p>●週2回の収集です。(ごみ収集カレンダーをご覧ください) 祝日も収集します。</p> <p>●市指定「燃やせるごみ用袋」に入れて出してください。</p> <p>●指定袋に入れにくい場合は、「燃やせるごみ用袋(大)」を巻きつけるか、収集券を貼って出してください。</p>	<p>毎月第</p> <p>●月2回の収集です。(ごみ祝日も収集します。)</p> <p>●市指定「プラスチック製容器包装」</p> <p>●対象となるのは、商品が入使われていたプラスチック製容器包装</p> <p>●白色トレイは資源ごみのE</p>
<p>市指定袋に入れるもの</p> <p>指定袋に入らない場合「燃やせるごみ用袋(大)」を巻きつけるか、収集券を貼るもの</p>	<p>一分け</p> <p>プラスチック製容器包装 紙製容器包装</p>
<p>生ごみ 落ち葉 紙おむつ・生理用品 ティッシュ レシート 液状調味料袋 ラップ類 アルミはく製品 アルミカップ アルミホイル 肌着・下着</p>	<p>外割のフィルム ポリ袋 容器 フタ カップ 例えば、ポリ袋類 チューブ類</p>

↑
ここ

環境講演会に参加して

7月1日(月)、エコプラザ萩にて開催された「環境講演会」に参加しました。演題は、「気象災害から地球環境を考える」で、講師の坂本京子さんがとても分かりやすく、お話ししてくださいました。

近年、大雨による災害が多発していますが、予想をはるかに超えた現象が、どの地域でも起こりうるため、日頃から防災意識を高め、いざという時には、率先して行動出来るよう、心掛けたいと思いました。

一方で、大雨や地震などにより、断水してしまった場合、また、雨の降らない日が増加し、干ばつのリスクも増大しているとのことですので、水資源確保への取り組み、緊急時の対策など、どの様な取り組みがされているのかということが気になりました。

坂本さんの講演を聞かせていただき、地球環境が急激に変化している今、これまでどおりの対策では、不十分なように思いますし、市民の意識もこれまでどおりでは危険だと思います。

行政・市民が一体となって、環境問題に取り組み、大切な命を守っていけたらと思いました。

(環境衛生課)

環境講演会にご参加いただき、ありがとうございました。講師の坂本先生のお話は、とても分かりやすいと好評で、昨年に続き今年もご講演いただきました。

ご意見のように、近年、大雨による災害が増えています。市民一人ひとりが身の回りの環境問題に少しでも関心を持ち、身近なことから行動し、多くの方々に広げていくなど、社会全体で環境問題に取り組んでいくことが重要だと思います。

萩市としても、市民の皆様と協力してまいりますので、個人や家庭、地域、職場など様々な場面でのご協力をよろしくお願いします。

エコプラザ・夏まつりの資源ごみ分別体験に参加して

6月16日(日)、萩市民になって8年目にして、初めて『エコプラザ萩』に行ってきました。会館10周年記念の夏まつりイベントが開催され、大いに賑わっていました。

工場棟の見学とごみの分別体験ツアーがあるという案内を頂いたので、夫と娘(年中)と一緒に体験させていただきました。

特に、ごみの分別体験では、プラスチック系の資源ごみがベルトコンベアで運ばれてくる中、手作業で異物を取り除いていきました。たった数分程の体験でも色々感じる事が多くあり、これまでのごみの捨て方を反省、改心させられました。

普段も手作業で異物を取り除かれていることに驚きました。“百聞は一見に如かず”と申しますが、この体験を沢山の市民にしてもらおうと、ごみ収集車に描かれてある『みんなで町をきれいに』というスローガンが自然に浸透して美しくて住みやすい街になるのではないかと思います。

エコプラザ・夏まつりの資源ごみ分別体験に参加して

なかなかプラスチック製ごみの分別が難しいのが現実です。

でも、現場では袋の中に1つでも汚れた物や資源ごみでないものが入っていると、機械にかける前に選り出す作業が入ることを聞きました。

また、ベルトコンベアの上をプラスチック製ごみが流れる間に、手選別で異物を取り除く体験をしました。ごみの臭いがきつかったり、目が回ったり、瞬時に異物を見極める大変さを体験しました。資源ごみとして製品化するために、多くの人の手が入ることや大変さも身をもって感じました。

私たち一人一人が、もう少し気にかけて資源ごみを出すようにすれば良いのですが、未だに分別の基準がわかりづらいものもあります。でも、体験できたことで、私の中では気をつけようという意識が大きくなりました。

先日、調理ボランティアをした際、可燃とプラスチックごみの分別が面倒と可燃ごみの袋と一緒に入れてあったので、わざと分別を試みたところ、賛同してくださる方もいました。小さい声でも、あげて実行していくつもりです。

(環境衛生課)

資源ごみ分別体験にご参加いただき、ありがとうございました。

選別作業の体験を、各ご家庭で少しでも生かしていただければ幸いです。

また、今回の作業で感じられたことを地域や職場など他の市民の方々へお伝えいただくようお願いします。

環境衛生課としては、エコプラザまつりでの分別作業体験会は、今回が初めての試みでした。

今年は、「開かれた職場」を1つのキーワードに、今回の体験作業や、施設見学会、他自治体との研修などを企画していきます。これは、多くの市民の方に施設を訪れていただき、環境行政に少しでも感心を持っていただくことを目的としています。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。



体験している様子

研修会に参加して

研修会に参加して、エコプラザ萩にて、ごみの分別体験がありました。萩工場では、プラスチックとペットボトルを、最終には圧縮作業されているようです。中味が汚く、圧縮にもっていけない時は、作業する方の手が入り、二度手間のようです。

何でも、プロがされているのを見て、自分の生活に生かしていきたいです。

また、「法と福祉のセミナー」に参加しました。内容は、子供食堂を中心とした地域福祉の在り方、子供食堂とは貧困場所ではなく交流場所で、子供たちには、ここに来たら大丈夫という場所、他の子供たちと食事をし学習、遊ぶ場所ということです。

そして、貧困の現状をわかりやすく説明され、これからも増えるであろう貧困家庭、1軒でも多く和む食堂が欲しいですネ。

防災訓練

今年の梅雨は、全国的に大変な災害になりました。数年前、萩でも台風による被害がありました。

今年の6月、萩総合福祉センターが新設されました。ぜひ、防災に関する訓練をやってください。

今まで萩は、災害がないと思われてきましたが、絶対にそのようなことはありません。

高齢者が多い萩です。ぜひ、町内単位ではじめてみてほしいです。

(防災危機管理課)

防災訓練に関しては、年1回、市主催の防災訓練を実施しており、また、地元主体の防災訓練を実施している地区もあります。

防災の基本は自助・共助・公助であり、特に自助・共助の活動が大事になり、そのためには、地元の自主防災組織の活動が不可欠となります。

防災危機管理課では、今年度より、自主防災組織の育成の取組みを行っており、今後、地元での防災活動が活発化し、防災活動の一環として防災訓練が地元で実施できるよう、今後も取り組んでまいります。



育児休暇中の保育園入所について

以前から気になっていたことです。

保育園では、母親が育児休暇に入ると、入所している姉・兄が退所になり（年長児は別）、母親は新生児と一緒に家庭保育をしなければなりません。母親は、赤ちゃんの世話で手一杯なことも多々あります。精神的にも肉体的にもつらい時期でもあります。

子育て支援で、いろいろ事業がなされていますが、このつらい時期をゆったりとした気持ちで、笑顔で、子どもや家族に接することができるようになれば、どんなに素敵なことでしょう。

母親が就労していないからダメ、厚生労働省の決めたことで変えられませんかと言われるますが、上の子が保育園に短時間でも預けられれば、一番の子育て支援になると思います。一番苦しんでいるのはお母さんなので、寄り添ってあげてほしいです。

萩市独自でできれば、少子化の歯止め的一端になると思うのですが。

（子育て支援課）

育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて、継続利用が必要である場合には、育児休業に伴う保育園等継続入所申立書により、育児休業の対象となる子の1歳の誕生日の前日まで利用が可能となっています。

しかしながら、育児休業のない職場で一旦退職となる場合については、前途による継続利用はできない状況にあります。

その場合には、上のお子様を短時間でも預けるサービスとして、一時預かり事業を実施していますので、ご利用ください。



移動販売

私の町では、スーパーが一軒しかありません。

高齢者で足が悪い人の中では、買物難民とまではいなくても、買物で苦労している人がたくさんいます。

家に若い人がいる家はいいですが、一人暮らしの人は大変だと思います。私も、度々買物を頼まれます。

以前は、業者の車による移動販売がありました。今は、それもなくなり、タクシーもなくなりました。

高齢者の方に聞いても、「移動販売があればねえ。」と言われます。やっぱり、自分で選んで買いたいらしいです。車による移動販売があれば、助かる高齢者もおられるのではないかと考えています。

(商工振興課)

萩市での移動販売は、現在、県農協が市内約 250 箇所を移動販売を巡回しておられますが、市内 20 箇所で行われていた県漁協については、平成 30 年 9 月から休止しておられます。

タクシーについても、須佐・田万川地域で休廃止されるなど、高齢者の買い物をはじめとする移動手段の確保は大きな課題となっています。

高齢者の買い物支援としては、現在、「ぐるっとバス」でも、タクシーの休廃業への対応を含めてですが、デマンド方式で運行している須佐地域や田万川地域では、これまで公共的な施設や病院などに行先を限定していたところを、買い物支援としても利用できるよう、地域のスーパーなど商業施設へも送迎しております。

地域での高齢者の方の生活支援としての移動手段の確保は喫緊の課題であり、そうした観点から、生活に密着した利用しやすい「ぐるっとバス」の運行体系を構築してまいりたいと考えています。

移動販売を行うスーパーなどへ実施の要請や支援を行っている自治体もありますが、今後、萩市でどのような取り組みができるか研究させていただきます。



萩市のグルメについて

萩市に移住して5年になります。

夫も私も萩市外、県外から移住したため、家族や友人が訪ねてきた時に、観光案内をすることがあります。

世界遺産や歴史のある建物、萩焼など、楽しめる場所はたくさんあるのですが、さあ、ご飯を食べようとなった時に、『萩に来たからにはこれを食べよう！』『萩のグルメといえばこれ！』というようなものが少ないような気がします。広島にお好み焼きを食べに行ったり、香川にうどんを食べに行ったり、グルメは人を呼びます。

何か、萩の観光を更に盛り上げる、萩を代表するグルメがあればいいなと思います。

(観光課)

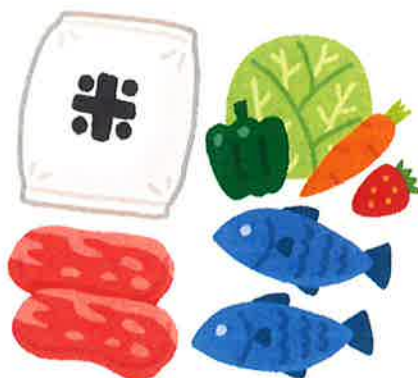
萩市は、日本海の天然の優良漁場や肥沃な大地で育った新鮮な海の幸・山の幸など、多様な「地域資源」に恵まれております。

市では、これらの地域資源を活用すべく、生産者と連携した「萩の瀬つきあじ」「萩のアマダイ」「萩のたまげなす」などのブランド化の推進、市内飲食事業者等との共同による「食の祭典」の開催、萩だからこそできる「一つ先の新しい料理」を追求した創作料理「はぎ御前」「はぎ弁当」の開発、萩ならではの新しいお土産のアイデアを募集する「萩逸品コンペティション」などにより、萩産品の認知度の向上、新たな料理やお土産を開発し、生産者の所得の向上、観光客の増大に努めているところです。

一方で、「萩」＝「食」のイメージができないといった声もお聞きします。食のイメージを定着化するためには、民間事業者や関係団体等との連携を深め、戦略的かつ中・長期的に取り組んでいく必要があります。引き続き、民間事業者等と連携した取り組みや効果的な情報発信により、萩の食のPR、「萩では美味しい物にであえる」というイメージづくりに努めてまいります。

また、「萩の旨旅」や「旬の地魚グルメガイド」など、萩の食を中心としたパンフレットを作成しておりますので、観光案内等において、是非、ご活用ください。

今後とも、萩の観光が盛り上がるよう、ご協力をお願いします。



萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

